

核兵器禁止条約の交渉開始を！  
**京都原水協通信**

2012年5月14日発行  
原水爆禁止京都協議会  
Tel 075-811-3203・Fax 075-811-3213

清水寺・原爆写真展(5月9～13日)

# 5日間でのべ2,300人が来場！

「核兵器全面禁止のアピール」署名が753筆、募金が51,363円寄せられる



4月30日～5月11日にウィーンで開かれた次回2015年NPT再検討会議準備会合に呼応して、京都の清水寺で開催(京都原水協と京都被爆者懇談会の共催)した原爆展には、5日間でのべ2,300人が来場、「核兵器全面禁止のアピール」署名が753筆、募金が51,363円集まりました。

来場者の約半分が修学旅行生で、外国

人観光客も多く、全国各地からの参拝者で終日いっぱいになりました。

涙を流しながら署名し、なけなしの小遣いから募金箱に500円玉を入れる中学生、被爆者に抱きつき泣き崩れる親娘、パネルの英文を一枚一枚じっと見入る外国人、パネルを見た一人ひとりにヒロシマ、ナガサキの実相は核兵器のこと、原発のことを間違いなく問いかけたと思います。



原爆展では、被爆者・被爆2世が呼び込み、ガイド、署名・募金の訴えなど、連日大奮闘してくれました。

開会日の9日には、41年目を迎えた京都教職員組合女性部の清水寺6・9行動も行われ

ました。この日は、歴代の女性部長をはじめ退職教職員、新婦人、右京原水協も合流し、22人で署名360筆を集めました。修学旅行の女子中学生は、「大事なことです。核はなくしてほしい」と署名してくれました。



核兵器のない世界へ、非核・平和な京都へ、原爆展を全自治体にひろげていきましょう。